

変形性関節症・リウマチに対する人工関節置換術

Medical Professional

医の達人

スーパーDr.ドクター

【取材協力】 (日本リウマチ学会教育施設)

海里マリン病院
BAY SIDE MISATO MEDICAL CENTER.
リウマチ・人工関節センター



人工膝関節置換術

■人工関節にはどのような種類がありますか。

200以上の人工関節登場

18年間に6000例以上の手術件数を経験していますが、ほとんどの症例は30分程度の手術時間で行えるようになりました。また、他人の血液を使わない予定手術で、自己血輸血を取り入れることにより輸血の合併症もなくなりました。正確に手術が行われれば、30〜40年の長期の耐久性を得られるようになってきています。

医療法人 緑風会 海里マリン病院 院長

中谷 孝氏に聞く

人工関節治療の名手

■高齢者の手術の場合、体力的な心配もあると思いますが、対処法はありますか。
●今、日本は世界の長寿国となっています。問題なのはお年寄りをいかに寝たきりにさせないかです。高齢者の関節が壊れますと、痛みのため寝たきり状態になってしまいます。7、8年前からですね、人工関節も片側型の局所置換するタイプもできてきて、この手術は90歳以上でも可能なです。手術した翌日から立位、歩行が可能で、10日から2週間で退院できるのです。当病院では最高齢は歩いていて転倒して股関節の手術をした102歳の女性がいいます。ひざ関節は95歳の男性の例もあります。

片側型の局所置換タイプ

進歩した人工関節で 日常生活を快適に！

●人工関節が主に使われるのは、膝関節、股関節、肘関節がほとんどです。少し使われるのが、肩関節と足首の関節、指の関節です。体重のかかる膝関節、股関節が圧倒的に多いです。機種の種類は、世界的にみると200以上の人工関節があります。当病院では、

高齢化の進展とともに増加している変形性股関節症や変形性膝関節症。また、若年者でも発症する関節リウマチも増加傾向にある。これまでは車いすや杖が欠かせなかったが、人工関節開発の進歩と手術手技の向上により、安心して日常生活を送ることができ、その耐久性も向上してきた。変形性関節症やリウマチに対する人工関節置換術を積極的に行っている、高知市の海里マリン病院院長・中谷 孝氏に話を聞いた。



中谷 孝氏プロフィール

昭和52年、関西医科大学卒。
高知大学医学部附属病院講師を経て海里マリン病院院長。
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会リウマチ認定医
日本リウマチ学会専門医
高知大学医学部臨床教授。

もつとも臨床成績のいいものを使用しています。

歩行障害などで置換術適応

■人工関節置換手術が必要なのは、どのような疾病ですか。

●変形性関節症と関節リウマチのほか、外傷・けがで関節の機能が破壊されてしまった場合。大きく分けて、この3種類ですね。このような疾患で関節軟骨が消失し、痛み、歩行障害が著明な方が手術の適応となります。

リウマチは若年者でも手術

■患者さんの年齢比率や男女差はありますか。

●この手術を受けられる方はほとんど高齢者ですね。人間は年を重ねるごとに、関節ももろくなり、変形していきます。ただ、関節リウマチの場合、症状のひどい人は10代から壊れ

普通に歩けることの喜び

■人工関節置換手術の目的やメリットは何ですか。

●膝・股関節などの体重のかかる関節に障害が出ると歩行ができなくなってきました。この手術の一番の目的は、日常生活において普通に歩けることを取り戻すことです。患者さんが歩けるようになるのは、執刀するわれわれ医師の喜びでもあります。

関節リウマチ チーム医療が重要

■貴院ではリウマチの患者さんが多いようですが。

●当病院ではリウマチに対する治療としてもチーム医療を行っています。関節リウマチには以下の治療が必要です。リ

ますので、若年者でも手術する場合があります。関節リウマチは圧倒的に女性に多い病気です。



人工股関節置換術

合併症にも細心の注意

■人工関節置換術で重要なことは何ですか。

●正確な手術と的確な後療法に尽きますね。手術をする私たち医師のほか、麻酔科、内科、リハビリテーション科、看護師がチームで患者さんを術前より見守ります。リハビリテーションは手術翌日から始まります。また、合併症としての感染や血栓に対する対応にも細心の注意を払っています。

ウマチ内科・リウマチ外科・リウマチ看護・理学療法・作業療法・在宅医療、以上の医療チームが総合的に対応することにより、関節リウマチは治すことが出来る病気になりました。早期に発見し、治療を開始すると、骨・関節の破壊を抑える新しい薬剤(生物学的製剤)が開発されました。すでに破壊されている関節に対しては、人工関節を含む手術療法により機能は回復します。日常生活では適切なリハビリテーション、骨・血管が弱いような食事療法、予防が大切です。これらを総合的に取り入れることにより、関節リウマチは治る時代となりました。